



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ

コード番号 2489 URL <http://www.adwavs.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 岡村 陽久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当上席執行役員

(氏名) 田中 庸一

TEL 03-5331-6308

四半期報告書提出予定日 平成27年2月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	26,038	16.9	789	48.0	880	79.9	513	47.4
26年3月期第3四半期	22,272	42.9	533	107.5	489	56.2	348	26.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 858百万円 (97.9%) 26年3月期第3四半期 434百万円 (28.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	12.62	12.29
26年3月期第3四半期	9.33	9.04

(注) 平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	18,175		12,756	69.0			307.52	
26年3月期	17,748		11,808	66.0			287.66	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 12,540百万円 26年3月期 11,714百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				2.88 ~2.94	2.88 ~2.94

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当金の内訳 記念配当 0円86銭~0円88銭

(注) 1株当たりの配当金額におけるレンジについては、当社の第5回~第8回ストック・オプション(新株予約権)の権利行使による発行済み株式数の増加の可能性を勘案したものであります。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	12.6	1,000	18.0	1,100	30.8	600	8.8	14.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	40,777,500 株	26年3月期	40,722,500 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	0 株	26年3月期	0 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	40,726,009 株	26年3月期3Q	37,369,564 株

(注) 平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本資料は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本資料の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の連結業績予想、配当予想及び本資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想及び配当予想に関する事項は、本資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会の開催日及び決算説明資料の入手方法)

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ホームページ(<http://ir.adways.net/>)にて開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日）の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、前年同期に対して増収増益となりました。

[連結業績]

(単位：千円、端数切捨て)

	前第3四半期 (平成26年3月期)	当第3四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	22,272,733	26,038,485	3,765,752 (16.9%)
営業利益	533,600	789,867	256,267 (48.0%)
経常利益	489,262	880,077	390,815 (79.9%)
四半期純利益	348,583	513,773	165,190 (47.4%)

売上高は、国内及び海外の広告事業が順調に推移したことにより3,765,752千円増加し、26,038,485千円（前年同期比16.9%増）となりました。

営業利益は、当第3四半期連結累計期間の4月に新卒社員が入社したことによる人件費の増加及び本社オフィスの移転に伴う賃料の増加等により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益の増加が費用の増加を吸収したことにより256,267千円増加し、789,867千円（前年同期比48.0%増）となりました。

経常利益及び四半期純利益は、営業利益の増加により、それぞれ880,077千円（前年同期比79.9%増）及び513,773千円（前年同期比47.4%増）となりました。

[報告セグメント別業績]

①広告事業

(単位：千円、端数切捨て)

	前第3四半期 (平成26年3月期)	当第3四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	19,283,167	21,340,690	2,057,522 (10.7%)
(外部売上高)	19,191,056	21,007,337	1,816,280 (9.5%)
(セグメント間売上高)	92,110	333,353	241,242 (261.9%)
セグメント利益	1,990,429	2,026,631	36,202 (1.8%)

内訳：外部売上高（広告事業）

(単位：千円、端数切捨て)

	前第3四半期 (平成26年3月期)	当第3四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
スマートフォン向け広告	8,357,011	11,355,675	2,998,664 (35.9%)
フィーチャーフォン向け広告	1,990,704	638,709	△1,351,994 (△67.9%)
モバイル向け広告計	10,347,715	11,994,385	1,646,669 (15.9%)
PC向け広告	8,843,341	9,012,952	169,611 (1.9%)

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」、携帯電話向けアフィリエイト広告「Smart-C」やPC向けアフィリエイト広告「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第3四半期連結累計期間における広告事業のモバイル向け広告は、モバイル端末利用者のフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行の影響により、広告主のフィーチャーフォン向け広告の出稿意欲は低下しております。一方でスマートフォン向け広告は、広告主の広告出稿意欲が高く、それに加え、アプリなどの広告掲載媒体数

が増加していることから売上高が伸長し、モバイル向け広告の売上高は11,994,385千円（前年同期比15.9%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における広告事業のPC向け広告は、金融関連企業を中心に取引が拡大したことにより売上高は9,012,952千円（前年同期比1.9%増）となりました。

この結果、広告事業の売上高は21,007,337千円（前年同期比9.5%増）、営業費用は新卒社員の入社に伴い人件費等が増加したものの、セグメント利益は2,026,631千円（前年同期比1.8%増）となりました。

②アプリ・メディア事業

（単位：千円、端数切捨て）

	前第3四半期 (平成26年3月期)	当第3四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	1,393,634	1,367,349	△26,285 (△1.9%)
(外部売上高)	1,286,751	1,334,374	47,622 (3.7%)
(セグメント間売上高)	106,882	32,974	△73,908 (△69.1%)
セグメント損失(△)	△296,136	△177,785	118,351 (-)

内訳：外部売上高（アプリ・メディア事業）

（単位：千円、端数切捨て）

	前第3四半期 (平成26年3月期)	当第3四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
アプリ事業	620,737	880,013	259,275 (41.8%)
メディア事業	666,014	454,361	△211,653 (△31.8%)

アプリ・メディア事業は、連結子会社である愛徳威軟件開発（上海）有限公司とコパン株式会社においてスマートフォンアプリの開発・運営、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいてメディアの運営等を行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、平成25年10月にリリースした「古の女神と宝石の射手」等の自社グループタイトルのゲームの売上拡大に注力してきた結果、売上高は880,013千円（前年同期比41.8%増）となりました。

今後は、自社タイトルの売上拡大を軸に、大手ゲーム会社と共同でアプリ制作を行う協業事業や当社が海外の有力アプリの翻訳などを行い、日本国内に日本版の海外の有力アプリをリリースするパブリッシング事業等によりアプリ事業の売上高の安定化を図ります。

当第3四半期連結累計期間におけるメディア事業は、主に株式会社サムライ・アドウェイズで行っているメディア事業において広告主の出稿意欲の低下により、売上高は454,361千円（前年同期比31.8%減）となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は1,334,374千円（前年同期比3.7%増）、セグメント損失は177,785千円（前年同期は296,136千円の損失）となりました。

③海外事業

（単位：千円、端数切捨て）

	前第3四半期 (平成26年3月期)	当第3四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	1,887,169	3,636,814	1,749,644 (92.7%)
(外部売上高)	1,785,836	3,588,111	1,802,274 (100.9%)
(セグメント間売上高)	101,332	48,703	△52,629 (△51.9%)
セグメント利益又は損失(△)	△150,795	44,314	195,109 (-)

海外事業は、中国・台湾・韓国・米国において、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間における海外事業は、各国における現地企業や外国企業へのスマートフォン向け広告出稿の営業を強化したことで、主に台湾子会社及び韓国子会社において、スマートフォン広告の売上高が大幅に伸長したことにより、前年同期比で売上高は増加し、前年同期のセグメント損失からセグメント利益となりました。

この結果、海外事業の売上高は3,588,111千円（前年同期比100.9%増）、セグメント利益は44,314千円（前年同期は150,795千円の損失）となりました。

④その他

（単位：千円、端数切捨て）

	前第3四半期 (平成26年3月期)	当第3四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	19,577	110,405	90,828 (464.0%)
(外部売上高)	9,088	108,662	99,574 (-)
(セグメント間売上高)	10,489	1,743	△8,745 (△83.4%)
セグメント損失(△)	△124,634	△192,825	△68,190 (-)

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第3四半期連結累計期間におけるその他は、国内においてインターネットを活用した古本買取販売を中心とした新規事業の拡大により、売上高は108,662千円（前年同期の売上高は9,088千円）と増加し、セグメント損失は192,825千円（前年同期は124,634千円の損失）となりました。

※外部売上高の対前年同期増減率は、増加率が1,000%以上のため表記しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

（単位：千円、端数切捨て）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期 (平成26年12月31日)	対前期末増減額 (増減率)
資産合計	17,748,617	18,175,082	426,464 (2.4%)
負債合計	5,940,282	5,418,906	521,376 (△8.8%)
純資産合計	11,808,334	12,756,176	947,841 (8.0%)

[資産合計]

- ・流動資産が前連結会計年度末より342,272千円減少し15,832,460千円となりました。主な要因は現金及び預金が205,666千円減少したこと及び受取手形及び売掛金が49,937千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産が前連結会計年度末より768,737千円増加し2,342,621千円となりました。主な要因は投資その他の資産に含まれる投資有価証券が679,485千円増加したこと、有形固定資産の建物の純額が181,499千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より659,625千円減少し5,266,085千円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が637,301千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より138,248千円増加し152,820千円となりました。主な要因はその他に含まれる繰延税金負債が44,526千円増加したこと、及び資産除去債務が89,069千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より947,841千円増加し12,756,176千円となりました。主な要因は利益剰余金が513,773千円増加したこと、その他有価証券評価差額金が289,307千円増加したこと、及び新株予約権が79,376千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、スマートフォンの急速な普及に伴う市場の拡大やスマートフォン・タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化などを受け、今後も順調に拡大することが予測されております。これらの傾向は国内だけでなく、海外においても顕著であり、中国をはじめとするアジア諸国においてインターネット関連市場は急速に拡大しております。

当社グループは、これらの拡大が見込まれるスマートフォン関連事業及び海外事業に積極的に注力し、当連結累計期間は事業を成長させ、更なる収益力の向上を目指してまいります。

なお、平成27年3月期通期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の連結業績予想につきましては、連結売上高は国内スマートフォン広告においてスマートフォンの新端末発売により主力であるゲームアプリ開発者の広告出稿控えによる売上高の減少の影響を鑑み35,500百万円（前期比12.6%増）となる見込みであります。一方、連結営業利益はサービスの絞込みや赤字事業の削減等を図ったことにより前回発表予想から増減はなく1,000百万円（前期比18.0%増）、連結経常利益は受取利息等の営業外収益の発生により1,100百万円（前期比30.8%増）、当期純利益は損失発生会社の損失額の減少及び経常利益の増加により600百万円（前期比8.8%増）と増加する見込みであります。

(剰余金の配当予想)

配当につきましては、当社の当連結累計期間（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の業績見通し、株主の皆様への継続的な利益還元及び今後における企業価値の向上を目的とする事業展開のための所要資金等の内部留保を勘案した結果、連結当期純利益の14%を配当性向の目処としておりましたが、これに加え、当期の海外広告事業の黒字化見通しをふまえて記念配当として6%を上乗せし配当性向の目処を20%とし、1株当たり2円88銭～2円94銭の期末配当を実施する方針といたしました。

1株当たりの配当金額におけるレンジについては、当社の第5回～第8回ストック・オプション（新株予約権）の権利行使による発行済み株式数の増加の可能性を勘案したものであります。

なお、当社の配当方針といたしましては、会計年度の通期連結業績において経常利益が1,000百万円以上となった場合、配当性向を基準に配当金額を算定しております。従って、経常利益が1,000百万円に満たない場合には、無配になる可能性があります。また当社の配当金額は、配当性向20%に基づき配当金額を算出するため、業績予想を上回った場合には変動することがあります。また、行使価額修正条項付き第10回新株予約権（第三者割当て）の権利行使が発生した場合には、発行済み株式数の変更に従い1株当たりの配当金額は変更されます。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,870,365	10,664,699
受取手形及び売掛金	4,983,692	4,933,755
たな卸資産	13,178	41,522
その他	419,479	301,137
貸倒引当金	△111,983	△108,655
流動資産合計	16,174,733	15,832,460
固定資産		
有形固定資産	209,985	366,023
無形固定資産		
のれん	78,782	62,300
その他	92,385	93,107
無形固定資産合計	171,168	155,407
投資その他の資産		
その他	1,201,114	1,830,184
貸倒引当金	△8,384	△8,994
投資その他の資産合計	1,192,730	1,821,190
固定資産合計	1,573,884	2,342,621
資産合計	17,748,617	18,175,082
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,638,321	4,001,019
未払法人税等	446,855	112,788
その他	840,534	1,152,277
流動負債合計	5,925,710	5,266,085
固定負債		
その他	14,571	152,820
固定負債合計	14,571	152,820
負債合計	5,940,282	5,418,906
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,489,910	1,496,727
資本剰余金	7,284,517	7,291,334
利益剰余金	2,548,188	3,061,961
株主資本合計	11,322,615	11,850,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,063	316,371
為替換算調整勘定	364,701	373,611
その他の包括利益累計額合計	391,765	689,983
新株予約権	48,386	127,762
少数株主持分	45,567	88,405
純資産合計	11,808,334	12,756,176
負債純資産合計	17,748,617	18,175,082



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	22,272,733	26,038,485
売上原価	18,313,550	21,087,539
売上総利益	3,959,182	4,950,946
販売費及び一般管理費	3,425,582	4,161,078
営業利益	533,600	789,867
営業外収益		
受取利息	8,372	38,239
補助金収入	6,256	9,041
外国税還付金	11,953	—
消費税等免除益	—	37,808
その他	9,600	20,648
営業外収益合計	36,184	105,738
営業外費用		
投資有価証券評価損	1,473	6,185
為替差損	69,859	—
その他	9,188	9,342
営業外費用合計	80,521	15,528
経常利益	489,262	880,077
特別利益		
投資有価証券売却益	258,040	74,338
持分変動利益	7,297	—
特別利益合計	265,337	74,338
特別損失		
投資有価証券売却損	—	199
関係会社株式売却損	631	—
投資有価証券評価損	40,003	20,193
関係会社株式評価損	—	23,558
本社移転費用	—	8,069
特別損失合計	40,635	52,020
税金等調整前四半期純利益	713,964	902,394
法人税、住民税及び事業税	391,985	348,735
法人税等調整額	△29,163	△6,139
法人税等合計	362,821	342,596
少数株主損益調整前四半期純利益	351,142	559,798
少数株主利益	2,558	46,024
四半期純利益	348,583	513,773

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	351,142	559,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75,467	289,307
為替換算調整勘定	158,330	9,780
その他の包括利益合計	82,863	299,088
四半期包括利益	434,005	858,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	430,516	811,991
少数株主に係る四半期包括利益	3,489	46,895

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	19,191,056	1,286,751	1,785,836	22,263,644	9,088	22,272,733	-	22,272,733
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	92,110	106,882	101,332	300,326	10,489	310,815	△310,815	-
計	19,283,167	1,393,634	1,887,169	22,563,971	19,577	22,583,548	△310,815	22,272,733
セグメント利益 又は損失(△)	1,990,429	△296,136	△150,795	1,543,497	△124,634	1,418,862	△885,262	533,600

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△885,262千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「広告事業」セグメントにおいて、Bulbit株式会社の株式の追加取得により、のれんが増加しております。当該のれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては14,005千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	21,007,337	1,334,374	3,588,111	25,929,822	108,662	26,038,485	-	26,038,485
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	333,353	32,974	48,703	415,031	1,743	416,774	△416,774	-
計	21,340,690	1,367,349	3,636,814	26,344,854	110,405	26,455,260	△416,774	26,038,485
セグメント利益 又は損失(△)	2,026,631	△177,785	44,314	1,893,160	△192,825	1,700,334	△910,467	789,867

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△910,467千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
- (固定資産に係る重要な減損損失)  
該当事項はありません。
- (のれんの金額の重要な変動)  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。
- (重要な負ののれん発生益)  
該当事項はありません。